



令和8年8月号 No.133
砂川市病児・病後児保育施設
Tel 0125-54-2278



連日暑いが続いていますね。夏かせのウイルスは高温多湿を好み、感染力がとても強いのが特徴です。手洗いをしっかりおこない予防しましょう。ご家族で出かける機会の多いこの時期、お子さんの体調には十分気を配り、今月も元気に過ごしていきたいですね。先月は中耳炎、アデノウイルス感染症、急性上気道炎、発熱などでの利用がありました。



令和8年7月16日、滝川保健所管内に、水痘の警報が発令されましたので、感染予防に努めましょう。



～合併症に気をつけましょう～

溶連菌感染症

熱やのどの痛み、
発しんが
出ることも

溶連菌感染症では、38～39度の高い熱が出て、のどが痛みます。のどの検査で診断がついたら、抗菌薬を飲んで治療します。治療をしないと全身に赤い発しんが出るほか、舌がイチゴのように赤くざらざらになるのが特徴です。

抗菌薬を飲み始めると1～2日で熱が下がり、症状は落ち着いてきますが、薬は最後まで飲み切りましょう。

症状が治まっても、薬を飲んでいる間はまだ体の中には溶連菌が残っています。薬の飲み忘れに注意しましょう。しっかり治さないと腎炎などの合併症の危険があります。



かゆみが出ることも。

登園再開の目安

抗生剤の服用開始から24時間以上が経過し状態がよいこと

アデノウイルス感染症



アデノウイルスとは？

アデノウイルスは多数の型があり、発熱、咽頭炎、結膜炎、胃腸炎など、さまざまな症状を引き起こします。

夏に多い印象があるかもしれませんが、実は冬場にも流行する感染症です。

感染経路と予防について

飛沫や接触によってうつるほか、便にも長くウイルスが出るため、手洗いがとても大切です。アルコール消毒では効果が弱いことがあるため、家庭では次亜塩素酸ナトリウムによる消毒をおすすめします。

代表的な症状

☆「咽頭結膜熱（プール熱）」…発熱、喉の痛み、目の充血などが特徴。

☆「流行性角結膜炎（はやり目）」…強い目の充血や目やに、まぶたの腫れなど。

治療について

アデノウイルスには特効薬がなく、基本的には症状を和らげる対症療法が中心です。

安静と水分補給を心がけ、無理せずゆっくり休ませてあげてください。

8月7日は鼻の日

あわて
ないで！

鼻血が出たときの 対応を知っておこう

血を見るとびっくりするものですが、子どもの鼻の粘膜は敏感なため、ちょっとしたことで鼻血が出ます。正しく対応すれば数分で止まるので、落ち着いて対応しましょう。



1 鼻をぎゅっと つまむ

小鼻（左右の鼻の穴の横あたり）を強めにつまんで圧迫します。子どもが不安にならないよう、やさしく声をかけてあげて。



2 うつむく姿勢で静かに 過ごす

鼻血が止まるまで、静かに過ごします。子どもが鼻を触ると止まりにくくなるので、だっこしたり絵本を讀んであげたりするとよいでしょう。

鼻血が出たとき **ダメ** なこと

- ✗ あお向けに寝かせる
- ✗ 上を向かせる
のどに回った鼻血を飲み込んでしまいます。
- ✗ うなじをたたく
鼻血を止める効果はありません。